

実施年度	.. 2022(2023)年
試験日	.. 2022年11月26日(土)実施
入試種別	.. 外国人留学生 大学院(修士課程)入学試験問題
学部・研究科	.. 文学研究科 東洋史学専攻
科目名	.. 専門科目

問題 次の問1・2の漢文史料を、歴史的な学術用語に配慮しながら、現代日本語に翻訳しなさい。解答はそのまま問題用紙に記入しなさい。

問2は裏面にあります。なお、( )内は解答欄に書く必要はありません。

当該問題は、受験生の史料読解能力を問うものである。採点は問題文を正しく読解し、理解しているかを踏まえて、総合的に評価する。以下に掲げる現代日本語訳はあくまで解答の一例である。

#### 問1

今韓世忠在楚，張俊在建康，岳飛在江州，吳玠在蜀，相去隔遠，情不相通。今陛下遣樞臣王庶措置邊防，宜令庶會集將帥，諭以國體，協心共議禦敵，常令諸軍相接以常山蛇勢，一意國家，無分彼此，緩急應援，皆有素定之術。（『宋史』卷三七六、常同伝。）

#### 解答例(現代日本語訳)

↓今紹興七年)、韓世忠は楚の地にあり、張俊は建康に、岳飛は江州に、吳玠は蜀に在る。相互に遠く隔たっており、情報や意思の疎通ができない。今、陛下(南宋高宗)は軍政の最高責任者である樞密使の王庶に辺境防衛の戦略・軍政をまかせています。王庶に諸將軍たち(韓世忠、張俊、岳飛、吳玠ら)を集合させ、国家防衛の大事を教えさとさせ、將軍たちが心をひとつにし協力し金軍から国家を防禦する戦略(軍略、補給など)を討議させるべきである。そして常に、諸軍が相互に連動して、(『孫子』にある)「常山蛇勢」の如く相互補助して隙がなく、国家の大事に専心して、彼此を分け隔てなく、緩急の際に軍糧や兵力において相互に応援する。あらかじめ皆がそのようにすべきという既定の戦略と方策を納得しているようにさせるべきである。

#### 問2

詔趙善湘有討李全功，特寢免；陳晔與祠，鄭損落職與祠。

(『宋史』卷四一、理宗本紀。紹定六年十二月壬辰)

#### 解答例(現代日本語訳)

↓詔により、趙善湘は李全を討伐した功績があるため、罷免するだけの処分とし、陳晔は老

退任者の就く道教寺院の管理者の身分とし、鄭損は高級文官の栄誉職を剥奪して、やはり老退任者の就く道教寺院の管理者の身分とする処分を与えた。